

SHOW HEY シネマールーム

★★★★

ゴジラ vs コング

2021 年 / アメリカ映画
配給：東宝 / 113 分

2021 (令和 3) 年 4 月 9 日鑑賞

TOHO シネマズ西宮 OS

Data

監督：アダム・ウィンガード
脚本：エリック・ピアソン / マックス・ボレンスタイン
出演：アレクサンダー・スカルスガルド / ミリー・ボビー・ブラウン / レベッカ・ホール / ブライアン・タイリー・ヘンリー / 小栗旬 / エイザ・ゴンザレス / ジュリアン・デニソン / カイル・チャンドラー / デミアン・ビチル / ランス・レディック

👁️👁️ みどころ

ゴジラ映画もキングコング映画もたくさんあるが、ゴジラ vs キングコングの“頂上対決”は本作がはじめて！なぜ、ゴジラは“破壊神”？そして、キングコングは“守護神”？その確認（復習）や両者の“出自”を含めて、なぜ両者が激突するに至ったのか、をしっかりと見極めたい。

巨人 vs 阪神の激突とその頂上決戦はぜひ観戦したいが、アントニオ猪木 vs モハメド・アリの対決（76 年）は「世紀の凡戦」だった。他方、台湾有事も米中激突も見たくないのと同じように、ゴジラ vs コングの頂上対決もホントは観たくない。しかし、もし両者戦わば、その結末は・・・？それは、あなた自身の目でしっかりと！

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■ 70年代の馬場 vs 猪木の頂上対決は？ ■□■

ジャイアント馬場率いる「全日本プロレス」と、アントニオ猪木率いる「新日本プロレス」が、互いの名誉をかけて各種の名勝負・名イベントを繰り返していたのは1970年代。1972年にアントニオ猪木が「全日本プロレス」に対してクーデターを画策したとして除名され、永久追放されたことが、その後の両陣営対決の原因だ。そんなプロレス全盛時代の“頂上決戦”はもちろんジャイアント馬場 vs アントニオ猪木の直接対決だが、そんなドリーム決戦の実現は？ジャイアント馬場にとっても、アントニオ猪木にとっても、次々に登場してくる挑戦者との対決は当然だが、2人が直接“頂上対決”することになれば、それは名誉と命を懸けた真剣勝負にならざるを得ない。

1976年6月26日に開催されたアントニオ猪木 vs モハメド・アリの異種格闘技戦は日本中の注目を集めたが、その「世紀の凡戦」に私を含む多くのプロレスファンは失望！しかして、ジャイアント馬場とアントニオ猪木の頂上決戦の実現は？

■□■ なぜゴジラは“破壊神”？キングコングは“守護神”？ ■□■

『GODZILLA』(14年)、『シネマ 33』254頁)に登場するハリウッド版のゴジラは“破壊神”と称されているが、それはなぜ?ちなみに、『ゴジラ』(1954年)、『シネマ 33』258頁)に登場する日本版のゴジラは、水爆実験と第五福竜丸の悲劇が付きまといっているから、“破壊神”というイメージは全くない。また、ハリウッド版ゴジラはモナーク(MONARCH)という研究機関との関係で描かれていくから、その点でも日米の違いは大きい。他方、『キングコング: 髑髏島の巨神』(17年)、『シネマ 40』未掲載)によれば、アメリカ生まれのキングコングは“守護神”と称されているが、それはなぜ?そのキングコングは今、髑髏島に生息しているはずだが、その現状は?

本作導入部でモナークが従事している任務は、未知の地にある巨大怪獣“タイタン”達の故郷の手がかりをつかむこと。そんな中、突如ゴジラが深海の中から姿を現し、世界を再び危機に陥れていったが、ゴジラは一体何を怒っているの?このままでは人類は滅亡・・・?そんな危機の中、人類はゴジラへの対抗措置としてキングコングを髑髏島から連れ出すという前代未聞の決断を。その結果、否応なしに実現することになったのがゴジラ vs キングコングの頂上対決だが、さあ、その展開は?ゴジラ vs コングの頂上対決は如何に?

■□■巨人 vs 阪神の激突は?米中の激突は?■□■

2020年もセ・リーグでダントツの1位になった巨人だったが、日本シリーズではソフトバンクに4連敗。これは2019年に4連敗した悪夢の再現だから、もはやセ・リーグとパ・リーグの実力差は歴然!他方、長年“ダメ虎”ぶりを見せてきた2021年の阪神タイガースは、新人長距離砲・佐藤輝明の話題に湧きながら、華麗なるスタートダッシュに成功!これなら、今年の巨人 vs 阪神の激突は面白そうだ。ここ数シーズンは負け越しが続いている阪神が巨人に勝ち越せば、ひょっとして今年は阪神タイガースにセ・リーグ優勝の目も・・・?

そんな事態が起きればかなりのハプニングだが、長期的な戦略の下で力を蓄え続けた中国は、ここ数十年、習近平体制の中で、経済力と軍事力を増強し続けてきた。そして今、トランプ大統領が退場し、バイデン大統領が登場してくると・・・?副大統領として仕えたオバマ大統領と同じ路線を進めるのは?そんな不安もあったバイデン政権は、意外にも矢継ぎ早に対中強硬策を打ち出し、親台湾政策も露骨に示しているが、これに対する中国の反発は強い。台湾海峡での不穏な動きが増強される中、近い将来、台湾有事はもとより、米中の激突も・・・?

巨人 vs 阪神の激突はぜひ観戦したいし、阪神タイガース vs ソフトバンク(楽天?西武?)との頂上対決もぜひ観戦したいが、さすがに米中の頂上対決はノーサンキュー。そんな心配をしつつ、ゴジラ vs キングコングの頂上対決に注目!

■□■ゴジラ vs コングの頂上対決は?■□■

『ゴジラ vs コング』というタイトルを見れば、本作は両者の頂上対決をテーマにした映画であることは明らかだ。日米開戦を避けるべく当時の政治家や軍人がどんな努力をした

のかについてはさまざまな資料があるが、それはゴジラ vs コングの頂上対決でも同じ。しかして、日米開戦に至るさまざまな資料が国家の機密事項とされたのと同じように、本作に見るゴジラ vs コングの頂上決戦に至る事情、その戦いぶり、その勝敗、結末などについては厳重な情報統制がとられている。また、『パラサイト 半地下の家族』（19年）（『シネマ46』14頁）が“ネタバレ厳禁”とされていたのと同じように、いや、本作についてはそれ以上に、ネタバレ厳禁とされている。そのため、ゴジラ vs コングの頂上対決をこの評論で実況中継することができないのは残念だが、それは仕方ない。その迫力と結末は、あなた自身の目でしっかりと！

私としてはアントニオ猪木 vs モハメド・アリの“世紀の対決”が「世紀の凡戦」になってしまったのと同じ結果にならないことを願うばかりだが・・・。

2021（令和3）年4月14日記